

議 事 録

件 名	第 31 回 セーフコミュニティ交通安全対策委員会	
日 時	令和 7 年 6 月 27 日 (金) 14:30~15:30	
場 所	久留米市役所 3 階 308 会議室	
出席者	委 員	白倉委員長、服部委員、北坂委員、大内田委員、山口委員、谷口委員、今村委員 (代理)、高橋委員、二本木委員、古賀 (友) 委員
	事務局	(安全安心推進課) 山下主幹、新村補佐、石井主査、前田
欠 席 者	赤松委員、赤司委員、麻生委員、古賀 (昭) 委員、末次委員、柳委員	
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 2024(令和 6)年度取組実績及び 2025(令和 7)年度取組方針 (案) について</p> <p>(2) セーフコミュニティの次期国際認証について</p> <p>(3) みんなでセーフコミュニティ賞について</p> <p>(4) インスタグラムを活用した情報発信について</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p>	
質 疑	<p>1. 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より開会 ・傍聴者の確認「なし」 <p>2. 協議事項</p> <p><u>(1) 2024(令和 6)年度取組実績及び 2025(令和 7)年度取組方針(案)について</u></p>	
委 員	①	全国や福岡県に比べると、久留米市は 10 万人当たりの発生件数が多い。更に高齢者関連事故の割合が高く、歩行時の事故も多いとなると、小学生だけではなく高齢者にも啓発が必要ではないか。周知といっても、チラシを渡すだけでは、なかなか意識付けできないので、暗い所で反射材を比較するとか、もっと具体的な体験を行うのはどうか。横断歩道がない道路を渡るときに、脇目も振らず渡っている高齢者の姿を良く見かける。
事 務 局		高齢者への啓発には、もっと力を入れていかないといけないと思っている。市では、「防ごう！高齢者の交通事故」という出前講座を開催し、そこで高齢者の方に、直接、現状や注意点を話している。しかし出前講座だけでは、限界があるのでいろんなキャンペーンやイベントでも啓発していきたい。
委 員 長		交通安全教育は、昭和 40 年生まれ以降ぐらいから始まっている。それ以降の子どもは、交通ルールについて学ぶ機会があったが、それ以前の世代になると、運転免許を取得していない人は習ってない。高齢者といっても、少し上の人は交通ルールを意外と知らないという認識を持った方がよい。

<p>委員 長</p>	<p>来年4月から、16歳以上の子どもたちが自転車で違反したら、反則切符を切られる。この16歳以上というのが非常に微妙なところで、原付免許は16歳以上で取れるので、道路交通法をきちんと理解していると思う。でも、実際はそうではない。子どもたちに、ある程度詳しく法律を教えなければならないが、どうやって教えていくかを考えなくてはいけない。</p>
<p>委員 ②</p>	<p>法改正後は、車と同じように罰金がつく。特に高校生に対してどのように教育していくかは、課題として認識している。</p> <p>また、最近増えているのが自転車の飲酒運転。これは去年の11月から法改正があって、自転車の酒気帯び運転も厳罰化されたので、軒並み自転車の検挙数が上がっている。ヘルメット着用については、非常に広く着用を呼びかけている。福岡県内の県立高校については、今年4月から義務化された。</p> <p><u>協議事項(2)(3)(4)</u> 質疑・質問なし</p>
<p>委員 長</p>	<p>異議・異論がないので、原案通り承認する。</p> <p><u>3. その他</u></p> <p><u>4. 閉会</u></p>